

一 般 質 問

発言者 五 条 陽 子

発 言 の 要 旨 (その1)
1 中学校部活動の地域展開について
(1) 本市の部活動の地域展開の、教育基本法に係る解釈と運用
① 体験格差・教育差別についてどのように認識しているのか。
② 誰一人取り残さないために、家庭の経済状況や送迎の可否などによって、子供の活動機会に格差が生じないように、どのような対策を講じるのか。
(2) 地域クラブ及び保護者・子供への継続的な財政支援
① 国の財政支援の有無に左右されることなく、子供たちの活動の場を安定的に確保し、保護者の負担が過度に増えることのないよう、市独自の継続的な財政支援の仕組みを構築する必要があるのではないか。
② 地域クラブへの財政支援を年度ごとの判断に委ねるのではなく、条例等により制度的に位置づけ、長期的かつ持続可能な支援の枠組みを整える考え
③ 制度上の経済的困窮世帯には該当しないものの、実質的に負担が重い家庭もあると思うが、全ての家庭の支援について、どのように考えているのか。
(3) 生涯学習課の関わり
地域クラブには、子供たちが中学校3年間を礎として、成熟した生涯学習社会への安定的な継続性が求められるが、生涯学習課の本施策への関わり方
(4) 地域クラブに対する市の管理・監督と子供の安全確保
① 地域クラブにおいて、不適切な指導、暴力・暴言、ハラスメント、性被害、その他の犯罪行為などが発生した場合、市はどこまで責任を持って対応するのか。
② 問題が発生した場合の相談窓口、事実確認、活動停止、認定取消し、保護者への説明、警察や関係機関との連携など、具体的な対応の流れ
③ 指導者の資格や研修、指導現場における複数人での見守り、相談・通報制度、定期的な活動状況の確認など、子供の安全を守るための事前防止策をどのように構築するのか。
④ 単なる募集要項やガイドラインではなく、子供の安全確保や地域クラブの責務、市の監督権限等を、条例として明確に位置づけることについての見解
(5) 子供たちの移動・送迎への支援

発 言 の 要 旨 (その2)
保護者や子供たちが安心して地域クラブへの移行を迎えられるよう、移動支援について具体的な施策を早急に提示すべきと考えるが、教育長の見解
(6) 中学生の居場所づくり
本市において、京都市の放活のように、原則無償の放課後の居場所・活動場所を学校内に整備する必要があると考えるが、全市的取組の一環としての見解
(7) 中学生の学習時間と学力確保
全国学力・学習状況調査の本県・本市の結果と現況を踏まえ、部活動の地域展開が中学生に及ぼす学力向上・学習時間確保の課題と、限られた時間と体力の中で学力向上のための家庭学習確保ができるかどうかの見解
2 災害時の御遺体の取扱いについて
(1) 本市の火葬施設の現状
① 首都圏では、平時でも火葬に1週間かそれ以上かかることがあるほか、費用が高価になっていると伺っているが、高松市の現在の火葬にこれらの困難はないか。
② 近年の自然死増加に対してどの程度対応できているのか、今後の施設維持と機能の見通し
(2) 本市の火葬施設の災害時対応
① 高松市内の火葬施設の立地は、津波浸水や風水害、地滑り等の災害時に強いものとなっているか、巨大災害時を見越した考え方
② 火葬に要する燃料は何か、また、供給が不能となった場合の対応計画
(3) 南海トラフ巨大地震等、多数の死者が出た場合の対策
① 対策はどのように考えているのか。
② 御遺体の収容・搬送・身元確認・検視・火葬ないし埋葬等の計画